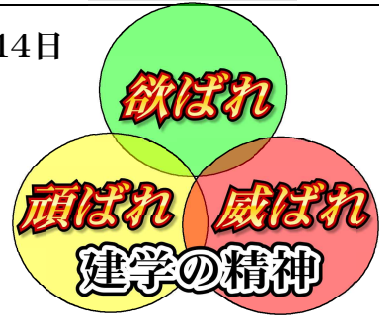




学校だより

第 1 号 令和5年4月14日
旭市高生77番地
TEL 0479-55-2150

さんばれ



《学校教育目標》

ホームページ <http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/jhs-unakami>

心身共に健康で 自己実現に向け 学び合う生徒の育成



4月11日に入学式が行われ、86名の新入生が無事に入学いたしました。吹奏楽部の生演奏で入場し、担任からの呼名に元気な返事をする事ができました。新入生代表の渡邊さんの誓いの言葉からは、強い決意が感じられました。

私からは、夜10時以降のネットゲームとの決別、心身共に健康で3年間をしっかりと歩もう。学ぶことが自分の一生を豊かにします。と伝えました。欠席者もなく、晴天に恵まれ、緊張の中にも温かな雰囲気での入学式でした。



令和5年度スタート!



《学校教育目標》

心身共に健康で 自己実現に向け 学び合う生徒の育成

心身共に健康で…心と体の健康がバランス良く調和されている姿

自己実現に向け…自分の夢、勉強、部活、進路などの目標を実現しようとする姿

学び合う…その目標を実現するために仲間（友達や先生、家族、地域の方）と共に課題に挑戦しながら、相互に高め合っていく姿

今年度のテーマは、自主性の育成です。



変

自主性…自ら率先して行動する。指示されなくても自分の判断で行動ができる。

今、ビジネスの世界で、いつまでも上司からの指示を待ち、自立できない部下が増えてきていることが課題だそうです。教えてやっているうちは良いのですが、いつになったら自分で考え判断してやってくれるのか…。

子どもたちには、思考力・行動力・解決力・判断力など、自分の頭で考え、行動できるようになってほしいと考えています。「やれ」と言ってやるよりも、自分から「やる」と言うことの素晴らしさや充実感を味わわせられるよう取り組んでいきます。

The職員研修「心肺蘇生法とAED」



旭消防署の署員のみなさんを講師にお招きし、職員研修を春休みに実施しました。

学校での事故防止はもちろんですが、事故発生時には、初期対応や関係機関への接続など、迅速に対応できるようにしています。研修後の実地訓練では、実際に生徒が倒れた想定で、校内設置のAEDや担架、119番通報を行い、救急車が到着するまでの約8分間の心肺蘇生を継続し、救急隊員への引き渡しまで行いました。救急車が到着するまでの時間の長さや緊張感は、大変勉強になりました。

学校部活動と地域クラブ活動について

昨年来、部活動に関しての様々な報道がされ、生徒、保護者の皆様も不安を感じていることと思います。現在の状況や今後の対応を下記にまとめました。競技によっても様々なケースがあるため、わからないことがあれば遠慮なくご相談ください。また、後日、大会参加の意思確認に関する文書を配付いたします。

現在の状況 1

○国からの方針

全国中学校総合体育大会に部活動以外のクラブチームも参加を認める。

※そのため、予選となる都道府県の大会にもクラブチームが参加することになります。

県・関東・全国の夏の大会においては、一人一種目の規定があるため、必然的に、クラブチームと部活動の両方で活動している生徒は、どちらかを選択しなくてはいけなくなります。ただし、競技によってクラブチームの参加方法は異なります。クラブチームと部活動の両方に所属していない場合は該当しません。

今後の対応

☆対応 1 同一種目で、クラブチームと部活動の両方に所属している場合

A そのクラブチームが夏の大会に参加しない場合

ア 部活動で大会に参加を選択 → 今までどおりの活動です。

B そのクラブチームが夏の大会に参加する場合

ア 部活動で大会に参加を選択 → 今までどおりの活動です。

イ クラブチームで大会に参加を選択 → 部活動運営上、指導が困難なため、部活動の継続はできません。(要相談)

☆対応 2 異種目でクラブチームと部活動の両方に所属している場合

A そのクラブチームが夏の大会に参加しない場合

ア 部活動で大会に参加を選択 → 今までどおりの活動です。

B そのクラブチームが夏の大会に参加する場合

ア 部活動で大会に参加を選択 → 今までどおりの活動です。

イ クラブチームで大会に参加を選択 → 今までどおりの活動ですが、部活動で大会に参加することはできません。

※今後、クラブチームと部活動の両方に所属する場合も同様です。

現在の状況 2

○国からの方針

学校部活動から地域クラブ活動への移行をすすめる。

※そのため、部活動がなくなってしまうのではないかと不安を感じている現状がありますが、令和7年度までは、推進期間のため、具体的な取組は、令和8年以降と考えられます。

今後の対応

この地域に受け皿が整わなければ、学校部活動だけなくなることは難しいと思われま

す。本校としても、今後の動向を見極めながら、対応していきます。部活動や地域活動は、子どもたちの成長にとって、欠かせない重要な教育活動と捉えております。